

フェアプライスプロジェクト周知活動

フェアプライスプロジェクトの消費者理解醸成を図るため、鳥取県・JAグループ鳥取と連携し、周知活動を実施

○ 施策分類

その他（新事業・食品産業）

○ きっかけ・背景・課題の把握

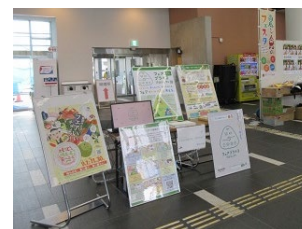
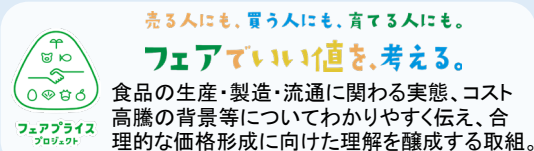
令和6年2月の予算説明の際、将来にわたる持続可能な食料供給を実現するため、農産物を含め食品の合理的な価格形成の必要性について説明。鳥取県・JAグループ鳥取も重要な課題としており、フェアプライスプロジェクトを共通テーマとし、消費者への理解醸成のための周知活動に連携して取り組むこととした。

○ 取組の内容

鳥取県では9月1日から11月30日を「もっと地産地消×フェアプライスプロジェクト月間」とし、鳥取県産品への関心や愛着を高め、より地産地消を盛り上げるとともに、食品の適正価格への理解を促す取組を実施。JAも10月1日から11月30日を「国消国産月間」としキャンペーンを実施。この期間に行われた県やJAグループ鳥取のイベントに鳥取県拠点も参加し、パネル展示やチラシ配布を行ったほか、市町村やJAグループ鳥取の広報誌へ広告掲載を行うなど、周知活動に取り組んだ。

○ 効果・成果、今後の方向性

イベントでの周知活動で、消費者から「生産者に感謝し、国産や地元産を意識した消費行動をしていきたい」という声や、生産者からも「もっとフェアプライスプロジェクトを知ってもらえるように周知活動を続けてもらいたい」という要望をいただいた。今後も県・JAと連携し、周知活動に取り組む。



パネル展示の様子



配布チラシ

体制図

